

平成13年度 施策別 取組 方向

部局名： 総合企画局

施策番号	施策名
610	総合計画を基軸とした県行政の推進
【目標】 三重のくにつくりの主体のひとつとして、総合計画を基軸とした県行政を推進します。また、総合計画に定める政策、施策の進行を管理するため、実施計画を策定し、その着実な推進を図ります。	

1 平成11年度の取組

(1) 平成11年度の取組概要とその成果

平成10年度の総合計画数値目標の進捗状況を取りまとめ、公表した。
県内9ヶ所で県民懇談会を開催し、数値目標の進捗状況と平成10年度に実施した県民意識調査の結果を説明し県民の意見を聞いた。
42事業グループ、309事業について総合行政が進められ、また、各部局が主体的に総合行政を推進できるよう庁内LAN・WANを活用した総合行政検索システムづくりを行った。
京阪神大都市地域ニーズ調査など調査調整費を活用して、社会経済情勢の急速な変化による行政需要及び各種施策の方向性の調査・検討を行った。

(2) 平成11年度の取組に対する問題点

県民懇談会では、地域で関心のある数値目標については意見があったが、総合計画の推進等政策提言的な意見は少ない状況であった。
総合行政については、総合行政検索システムのより一層の活用により各部局の主体的な取り組みを促進することが必要である。

2 平成12年度の取組と成果見込み

平成11年度の総合計画数値目標の進捗状況を取りまとめ、公表する。
県民懇談会を開催するなど、県民から県政に対する意見を幅広く聞く。
県民意識の経年変化(前回：平成10年度調査)を把握するための県民意識調査を実施する。
平成14年度から始まる第二次実施計画(H14～H18年度)の策定の準備作業に着手する。併せて、県民と共有でき、分かりやすく、進行管理が容易な数値目標とするための見直しを行う。
各部局が総合行政検索システムを活用して、主体的に総合行政を構築するよう支援する。(66事業グループ、387事業)

3 平成13年度以降に向けての取組方向

第二次実施計画を策定し、生活者起点の観点から見直した数値目標により、誰もが分かりやすい形で目標を共有し、県民と協働しながら、総合計画の目標達成に向け、施策や事業を遂行していくとともに、総合計画の目標が達成できたかどうかの評価を行い、翌年度の予算への反映を図っていく。
時代の潮流や社会経済の動向などに応じた新たな課題に対応していくための調査を行い、政策提言につなげていく。